

事務事業実績測定調査

事務事業名称	「なんでも、どこでも出前塾」実施事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	2005(H17)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		生涯学習活動をしたい者。										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		市政等に関して学ぶ手段が少ない										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供することにより、市民が主体的に生涯学習活動ができています。												
事業概要	各施策担当課職員が市民団体に Outreach、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	市民が主体的に生涯学習活動ができる。				市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。				「職員による出前講座」を実施する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	満足度(実施報告書より)実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数/開催講座数×100】項目:「満足」「普通」「不満」				出前講座実施回数				出前講座メニュー数					
	単位 %				単位 回				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	日標(見込み)		80以上	80	80	80	140	140	140	140	120	120	120	120
	実績		96	96			28	60			121	125		
達成度		120%				43%				104%				
分析		参加された市民の方の満足度は、極めて高く、概ね目標を達成したと言える。				新型コロナウイルス感染症の影響により、申し込みがあったのに、キャンセルや中止となった件数が非常に多かった。				概ね達成したと言える。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	市民が主体的に生涯学習活動ができる。				市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を手に入れることができる。				「学びの情報ひろば」を実施する。					
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	満足度(実施報告書より)実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数/開催講座数×100】項目:「満足」「普通」「不満」				HPアクセス件数				「学びの情報ひろば」HP掲載件数(講師紹介件数+登録団体件数)					
	単位 %				単位 件				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	日標(見込み)		80以上	80	80	80	1,200	1,300	1,400	1,500	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績		96	96			793	714			724	695		
達成度		120%				55%				58%				
分析		参加された市民の方の満足度は、極めて高く、概ね目標を達成したと言える。				昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、アクセス数の減少が見られた。				昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、登録団体数の現象が見られた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,042	1,037	1,021		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,042	1,037	1,021		
	物件費計	11	15	9	10	90%
	歳出計	1,053	1,052	1,030		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	1,053	15	9	10	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習市民センターの閉館はもとより、本講座のような集合形式での学習の機会が著しく制限され、市民が主体的に学習するという環境を整えることが、極めて困難であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、本事業を継続実施する。また、「学びのひろば」については、より多くの生涯学習に関する情報を提供できるよう、引き続き努力する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた人形劇フェスティバル支援事業															
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支援、豊かな心を育むまち													
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち													
	実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信													
1. 事務事業の概要																
種類	市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業	
事業期間	1990(H2)年度				年度	~								年度まで		
根拠法令等	決裁															
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		普段人形劇に触れる機会のない市民(保護者・子ども)													
	サブターゲット		市内や市外の人形劇団													
	ターゲットが抱える課題		普段人形劇に触れる機会がない													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	ひらかた人形劇フェスティバルを通じて市民に人形劇の楽しさを味わってもらっている。															
事業概要	枚方人形劇連絡会、枚方市、指定管理者の3者で「ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会」を組織し、毎年3月に「ひらかた人形劇フェスティバル」を開催している。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	普段人形劇に触れる機会がない市民に人形劇の楽しさを味わってもらう。				ひらかた人形劇フェスティバルに市民が来場する。				ひらかた人形劇フェスティバルを開催する。							
指標設定	指標説明		アウトカム(活動効果) 満足度(来館者より)アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				アウトプット(活動結果) フェスティバルへの来場者数				インプット(活動) フェスティバル開催数					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)		80以上	80	80	80	2,000	2,000	2,000	2,000	1	1	1	1		
	実績		0	0			425	0			1	0				
	達成度		0%				0%				0%					
	分析		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業実施ができなかった。				令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業実施ができなかった。				令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業実施ができなかった。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	561	558	550		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	561	558	550		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	561	558	550		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	561	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業実施ができなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度の開催に際しては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行いながら、地域を巻き込んだPRを引き続き行い、地域の活性化とともに、人形劇事業及び生涯学習市民センターの認知度の向上を図り、街の魅力の一つとして発信していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ふれあいホール運営事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業						
事業期間	1994(H6)年度				年度	～		年度まで					
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則												
関係補助金名称												サンセット	-
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		出展者。										
	サブターゲット		ふれあいホールの来場者。										
	ターゲットが抱える課題		工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場が少ない										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	適切にふれあいホールの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として市民の交流が深まっている。												
事業概要	市民に工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場を提供し、市民文化の向上に資することを目的に、市民の生涯学習活動を支援する為、ふれあいホールを設置し、市民の利用に供している。 ※ふれあいホールは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	美術作品の発表、鑑賞の場として市民の交流が深まる。				イベントに市民が来場する。				ふれあいホールでのイベント開催を行う。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	ふれあいホール利用率				ふれあいホール一般利用の展示会来場者数				ふれあいホール一般利用の展示会開催数					
	単位 %				単位 人				単位 回					
	指標種類 増加することが良いとされる指標													
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		60以上	60	—	—	13,000	6,500	—	—	30	15	—	—
	達成度		38.33	50	—	—	3,453	2,073	—	—	12	8	—	—
83%				32%				54%						
分析		コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業を含む展示会が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業を含む展示会減少に起因し、来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、展示会が減少した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	955	944	470		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	36	0	57		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	991	944	527		
	物件費計	0	0	0	0	—	
歳出計		991	944	527			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		991	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナによる緊急事態宣言発出により、展示会中止に伴う開催数の減少に加え、令和3年9月の施設閉館による開催数減少が重なった。なお、展示会の開催中に来場いただいた市民には概ね満足いただいたものと考えている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	ふれあいホールは令和3年9月末をもって閉館となった。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市民ギャラリー主催事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		文化生涯学習課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																			
				実行計画名				17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信																			
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		1980(S55)年度				年度		~						年度まで													
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称												サンセット															
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット				美術鑑賞に興味がある市民																					
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題				市内で美術鑑賞を行える機会が少ない																					
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		社会・市民のニーズを把握して、多くの市民の方に身近で気軽に美術鑑賞をしていただける展示会を開催できている。																									
事業概要		美術鑑賞活動と文化交流の場として、公募展、主催展及び企画展を開催する。 ※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止するが、引き続き、主催事業については総合文化芸術センターで実施する。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		市民の美術文化の向上につながる。				公募展、主催展及び企画展に市民が来場する。				公募展、主催展及び企画展を開催する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」				公募展、主催展及び企画展の来場者数				公募展、主催展及び企画展の開催数																	
		単位				単位				単位																	
		%				人				回																	
		指標種類		増加することが良いとされる指標																							
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5												
		実績		80以上	80	—	—	8,000	8,000	—	—	9	9	—	—												
達成度		109%				11%				33%																	
分析		開催した展示会に来場された市民の方に満足いただいたものと考えている。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業が中止となったことより、来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業が中止となった。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.32
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.11
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,686	4,269	2,169		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	364	0	229		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,050	4,269	2,398		
	物件費計	671	100	95	262	36%
	歳出計	5,721	4,369	2,493		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	5,721	100	95	262	

5. 総括的分析

総括的分析
 コロナによる緊急事態宣言発出により、展示会中止に伴う開催数の減少に加え、令和3年9月の施設閉館による開催数減少が重なった。なお、展示会の開催中に来場いただいた市民には概ね満足いただいたものと考えている。また、閉館後の芸術文化の継承は、総合文化芸術センターに適切に行った。

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となった。なお、事業等は新設の総合文化芸術センターに引継ぎを行った。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習市民センター維持管理事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称	Osaka Free Wi-Fi設置促進事業補助金			サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	生涯学習市民センター利用者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	
	ターゲットが抱える課題	生涯学習施設の利用者が、安全で快適に利用できるように施設設備の修繕や保守点検を実施する必要がある。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習施設の利用者が、安全・快適に利用ができています。
---------------------------	------------------------------

事業概要	<p>□生涯学習施設管理 市内9箇所の生涯学習市民センター施設の清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の保守点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化等に伴う修繕改修等の実施。 枚方市立生涯学習市民センター(全9施設)・楠葉生涯学習市民センター(枚方市楠葉並木)・サンプラザ生涯学習市民センター(枚方市岡東町)・さだ生涯学習市民センター(枚方市北中振)・御殿山生涯学習美術センター(枚方市御殿山町)・牧野生涯学習市民センター(枚方市宇山町)・牧野生涯学習市民センター(枚方市北分館)・津田生涯学習市民センター(枚方市津田北町)・菅原生涯学習市民センター(枚方市長尾元町)・南部生涯学習市民センター(枚方市香里ヶ丘)・生涯学習情報プラザ(枚方市車塚) [主な諸室] 集会室、料理室、ホール等</p> <p>□市所蔵美術工芸品の適正管理 所蔵する美術工芸品の状態を把握するとともに、美術作品の適正管理を行う。</p> <p>□各種基金実施事業 ・「枚方市植村猛アート基金」を活用し、本市の美術事業の充実を図る。 ・「枚方市大東清四美術品管理基金」を活用し、本市が所有する美術品等の継続的な保管・管理を行う。</p> <p>【変更等の内容】 □生涯学習施設管理 市内の生涯学習市民センター(全9施設)のうちWi-Fi設備が導入されていない2施設について、ロビー等にWi-Fi設備を導入して利用者がロビー等を快適に利用できるようにする。なお、設置にあたっては府補助金事業を活用していく。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						生涯学習市民センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				臨時休館日(改修工事や保守点検、天災等を除く突発的な休館日数)			
	指標種類	単位				単位 %				単位 日			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	0	0	0	0
	実績					70	92.30				0		
達成度					100%				100%				
分析					年度当初に予定した工事を予定通り実施することができた。				臨時休館をすることなく運営できた。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,337	11,720	12,221		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,171	1,810	2,391		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	14,508	13,530	14,612		
	物件費計	548,494	487,354	487,354	500,915	97%
	歳出計	563,002	492,707	501,966		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	24,567	32,456	49,848	
	市債	0	17,100	0	50,500	
	その他	48,631	39	52	51	
		歳入計	48,631	41,706	32,508	100,399
	一般財源	514,371	437,471	454,846	400,516	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み業務を行った。また、交換・修繕が必要なものについては、適切に処理をした。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習市民センターの改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。 ○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 ○引き続き、中央図書館資料室で保管している市所蔵美術工芸品の状態を把握するとともに、適正管理を行う。 ○基金については、本市の美術施策の充実並びに美術品等の継続的な保管・管理のために活用する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習市民センター活動委員会事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	生涯学習を行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	市民とセンター職員で構成する活動委員会を、平成19年度から楠葉・さだ・御殿山・牧野・津田・菅原の各センターに、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも設置。地域の特色を生かした市民対象事業を実施してきた。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のある者、③事業に関心のある者、④センター職員としている。指定管理者制度を導入している6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野)においては、指定管理者から負担金20万円を支出し、活動委員として2名参加している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	市民の生涯学習活動が推進される。	市民の生涯学習活動が推進される。				事業に市民が参加する。				市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行う。		
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	事業への参加率 【算出式:参加者人数/募集人数×100】				活動委員会事業の参加者延べ人数				活動委員会事業の件数			
	単位 %				単位 人				単位 件			
	増加することが良いとされる指標											
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
指標数値	80以上	80	80	80	30,000	30,000	30,000	30,000	90	90	90	90
実績	75	90			1,963	4,212			21	50		
達成度	113%				14%				56%			
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業数、参加者数ともに少ない中でも、実施した企画については、まずまずの参加率であった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業数が圧倒的に少なくなり、それに伴い参加者数も当初の想定より大きく減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業数が当初の想定より大きく減少した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,301	6,728	7,005		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	119	0	415		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,420	6,728	7,420		
物件費計	200	150	200	200	100%	
歳出計	7,620	6,878	7,620			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源	7,620	150	200	200		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、生涯学習市民センターの閉館はもとより、集合形式での事業の機会が著しく制限され、活動委員会事業も中止・延期等を余儀なくされた。次年度についても、その影響はあるものと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習事業												
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標			17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名			17-3.生涯学習活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	生涯学習事業に興味のある市民。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。
---------------------------	---

事業概要	<p>□生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>□生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>□枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>□枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及びびくずはアートギャラリーの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいている。</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																												
	市民の生涯学習活動が推進される。	各種事業に市民が参加する。	各種事業を実施する。																																												
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																											
	満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより) 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数 / 回答者人数 × 100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」	生涯学習事業の参加者数	生涯学習事業の開催数																																												
	指標種類	増加することが良いとされる指標																																													
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> <th>単位</th> <th>人</th> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>80以上</td> <td>80以上</td> <td>80以上</td> <td>80以上</td> <td>2,500</td> <td>3,900</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>51.99</td> <td>51.40</td> <td></td> <td></td> <td>341</td> <td>1,944</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	単位	人	単位	回	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	80以上	80以上	80以上	80以上	2,500	3,900	2,500	2,500	51.99	51.40			341	1,944			<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>95</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>76</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	回	R2	R3	R4	R5	55	95	55	55	20	76		
	単位	%	単位	人	単位	回																																									
R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5																																								
80以上	80以上	80以上	80以上	2,500	3,900	2,500	2,500																																								
51.99	51.40			341	1,944																																										
単位	回																																														
R2	R3	R4	R5																																												
55	95	55	55																																												
20	76																																														
達成度	64%		80%																																												
分析	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止又は延期となり、満足度が低下し、未達成となった。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となり、開催できた事業でも定員や開催日程を減らしての実施であったため、目標を大きく下回った。(指標数値は、生涯学習事業の参加者数+朝鮮語教室の受講者延べ人数で算出)	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった事業があった。(指標数値は、生涯学習事業の開催数+朝鮮語教室の開催数で算出)																																												

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	8.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	5.58
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	13.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	66,007	61,233	57,879		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	15,774	16,002	15,540		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	304	190,000		
	人件費計	81,781	77,539	263,419		
	物件費計	155,420	14,543	14,912	17,567	85%
	歳出計	237,201	92,082	278,331		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,621	1,917	2,005	4,809	
	歳入計	2,621	1,917	2,005	4,809	
	一般財源	234,580	12,626	12,907	12,758	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった事業があった。満足度についても事業の実施が十分できなかったことが原因で目標を下回る結果となったと考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。 また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。 生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。 美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民会館施設維持管理運営事業												
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	内部管理				特性			内部事務		区分		一般内部管理事務	
事業期間	不明				年度	~						年度まで	
根拠法令等	枚方市市民会館条例												
関係補助金名称											サンセット		-
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		文化・学習などの活動を行う市民										
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題		市民が文化芸術に触れたり自ら発表したりする機会や場が少ない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理できている。												
事業概要	市民会館設置目的を踏まえ、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理を行う 令和2年4月から直営管理を行う(令和3年10月にホール棟、令和4年3月に本館を廃止する予定)												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市民会館が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標説明						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				必要な保守点検及び修繕を実施する。			
		単位				単位				単位			
指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					50	50	-	-	-	-	-	-
	実績					13	60			77	80		
達成度						80%							
分析						簡易な修繕箇所は業務委託先の業者や職員による修繕を行うことで対応したが、建物の老朽化が激しく、貸館に影響が出ないよう、適宜修繕を行ったため目標達成には至らなかった。				建物の老朽化が激しく、突発的に修繕必要箇所が発生することが多く、目標を立てることが困難なため。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,009	16,846	9,913		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,009	16,846	9,913		
	物件費計	87,240	65,863	61,045	61,200	100%
	歳出計	91,249	82,709	70,958		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	6,768	6,012	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	6,768	6,012	0
	一般財源	91,249	59,095	55,033	61,200	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み、業務委託業者と連携をとりながら貸館業務を行った。また、交換や修繕が必要な箇所が生じた際には、適切に処理をした。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	令和4年3月31日に市民会館が閉館したことに伴い、本事業は廃止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													総合文化施設整備事業(文化生涯学習課)												
測定年度			2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		文化生涯学習課										
市長公約との関係			所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4												
総合計画体系			基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																		
			施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																		
			実行計画名				17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信																		
1. 事務事業の概要																									
種類			市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業										
事業期間			2000(H12)年度				年度		~						年度まで										
根拠法令等			決裁、枚方市総合文化芸術センター条例																						
関係補助金名称													サンセット												
関係附属機関名称																									
事業対象			メインターゲット		枚方市内で文化芸術を鑑賞・体験する機会を求めている市民																				
			サブターゲット																						
			ターゲットが抱える課題		文化芸術を享受するため、大阪市内や京都市内へ足を運ばなければならない。よって、文化芸術に関心がある人(やその子ども)しか、文化芸術に触れる機会が得られない。																				
			ターゲットが抱える課題		年代や関心の違いによって、求める文化芸術のジャンルがさまざまである。																				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)			様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会を作ることで、幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を享受することができる。また、枚方市内でそうした機会を作ることで、文化芸術にあまり関心がなかった人(やその子ども)も、文化芸術に触れる機会が得られる。																						
事業概要			集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、優れた実演芸術の公演や、日常練習や発表などの市民の文化芸術活動の場となる総合文化施設を整備する。																						
			平成30年度~令和2年度 建設工事				令和元年度~令和2年度 指定管理者選定				令和3年度 開館														
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
			幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を享受することができる。				様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会がある。				総合文化施設が整備される。														
指標説明			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
			来館者数				総合文化芸術センターの自主事業数				総合文化芸術センターに係る工事契約の執行累計額の割合														
指標種類			増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標														
			R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5								
指標数値			目標(見込み)		200,000		304,000		304,000		-		50		100		100								
			実績		183,550						-		51												
達成度			92%				102%																		
分析			新型コロナウイルス感染症の影響により、想定より来館者が少なかった。				想定どおりの事業を実施することができた。				令和3年5月に竣工し、工事契約の精算を終えた。														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.54
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,435	16,349	12,100		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	16,435	16,349	12,100		
	物件費計	1,029,738	5,371,557	5,264,538	907,953	328%
	歳出計	1,046,173	5,387,906	5,276,638		
歳入	国庫支出金	0	215,000	169,922	3,800	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	3,783,700	3,356,700	341,700	
	その他	0	1,621,156	149	532,386	
	歳入計	0	5,619,856	3,526,771	877,886	
	一般財源	1,046,173	248,299	1,737,767	30,067	

5. 総括的分析

総括的分析	総合文化芸術センターは令和3年5月に竣工し、8月30日に開館した。 開館後は、約半年間で自主事業を51本実施し、183,550人の来館者があった。来館者数の目標値はコロナ発生以前に設定したものであるため、コロナ禍の中では多くの来館者があったと分析する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	総合文化施設の整備が完了したことにより、事業を廃止する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民企画イベント促進事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業			
事業期間	2006(H18)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	枚方市市民企画イベント促進事業実施要綱													
関係補助金名称	市民企画イベント促進事業補助金							サンセット	2019(R1)年度		~		2021(R3)年度	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		資金不足、広報力の不足、会場確保の確保が困難であるということ。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民(団体)が、企画実施した文化芸術事業に多くの市民が参加できている。													
事業概要	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者に対して、事業に要する経費に対する補助等の支援を行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	文化芸術事業に多くの市民が参加している。				市民の手によって文化芸術の振興につながる事業が実施される。				市民企画イベント促進事業補助金を交付する。					
指標設定	指標説明		各事業の参加者数の合計				支援決定団体が実施した事業数				支援決定団体数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)		150 150 150 150				3 3 3 3				3 3 3 3			
	実績		24 9,291				1 5				1 6			
	達成度		6194%				167%				200%			
	分析		実施事業のうち1事業が街頭ビジョン閲覧者として8,820人の実績があった。これを除く4事業でも392人の実績があった。目標値を超える事業数の実施により、想定よりも多くの参加者があった。				1団体の補助対象上限金額が30万円だが、これを下回る金額の支援決定団体が多数あったことにより、想定よりも多くの団体に支援できた。このことから、事業数も想定より多く実施することができた。				1団体の補助対象上限金額が30万円だが、これを下回る金額の支援決定団体が多数あったことにより、想定よりも多くの団体に支援できた。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	1,994	1,807		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,004	1,994	1,807		
	物件費計	364	0	538	919	59%
	歳出計	2,368	1,994	2,345		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,368	0	538	919	

5. 総括的分析

総括的分析 本事業については、予算額が90万円で、1団体の補助対象上限金額が30万円で3団体を支援することを想定している。令和3年度については、補助対象上限金額を下回る金額の支援決定団体が多数あったことにより、想定よりも多くの団体に支援できた。このことから、事業数も想定より多く実施することができたことにより、多くの参加者につながった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
----	------

今後の取組方針 これまでの取組を継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市民ギャラリー運営事業													
測定年度				2021(R3)年度				部				観光にぎわい部				課				文化生涯学習課							
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																			
				施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																			
				実行計画名				17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信																			
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事业				区分				一般事務事業							
事業期間				1980(S55)年度				年度				～				年度まで											
根拠法令等														枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則													
関係補助金名称														サンセット													
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		出展者。																							
		サブターゲット		市民ギャラリーの来場者。																							
		ターゲットが抱える課題		市内に創作活動の発表と美術鑑賞の場が少ない。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		適切に市民ギャラリーの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として、市民の美術文化の向上につながっている。																									
事業概要		市民に美術作品の発表及び美術鑑賞活動と文化交流の場としてギャラリーを設置し、市民の利用に供している。 ※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				市民の美術文化の向上につながる。				一般利用の展示会に市民が来場する。				創作活動の発表と美術鑑賞の場として一般利用の展示会を開催する。															
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				指標説明		市民ギャラリー利用率				市民ギャラリーでの一般利用の展示会来場者数				市民ギャラリーでの一般利用の展示会開催数													
				指標種類		増加することが良いとされる指標																					
				指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5													
				目標(見込み)		90以上 90 — —				60,000 30,000 — —				90 45 — —													
				実績		48.39 55.56 — —				11,141 6,565 — —				29 19 — —													
達成度				62%				22%				42%															
分析				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業を含む展示会が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、主催事業を含む展示会減少に起因し、来場者が減少した。				コロナによる緊急事態宣言発出のため、4月～6月の利用中止期間及び9月閉館に伴い、展示会が減少した。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,476	3,439	1,620		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	119	0	143		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,595	3,439	1,763		
	物件費計	21	24	0	0	—
	歳出計	3,616	3,463	1,763		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,616	24	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナによる緊急事態宣言発出により、展示会中止に伴う開催数の減少に加え、令和3年9月の施設閉館による開催数減少が重なった。なお、展示会の開催中に来場いただいた市民には概ね満足いただいたものと考えている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となった。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化芸術振興費補助事業(文化芸術創造拠点形成事業)													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	文化生涯学習課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-1.総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業			
事業期間	2019(R1)年度				年度	~	2023(R5)年度				年度まで	
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称	文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)							サンセット				
関係附属機関名称	文化芸術振興審議会											

事業対象	メインターゲット		枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		枚方市内で文化芸術の鑑賞機会がない、または発表の場がない									
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等に鑑賞の場や発表の場を提供することにより、市民の文化芸術に対する満足度が向上している											
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>本市は、令和3年10月の開館を目指して、総合文化芸術センターを建設中である。センターには、多目的に使える大ホール(1468席)・小ホール(325席)、舞台や客席の自由度が高いイベントホールのほか、美術ギャラリーなども備えていることから、この施設を、人々が集い、交流する、文化芸術と賑わいの拠点施設として活用することを考えている。</p> <p>事業の実施にあたり、芸術家、芸術団体、文化団体、学校、地域などと連携することで、優れた事業を効果的に実施する好循環を作る。センター開館までは文化芸術への関心が高まる取り組みを中心に実施し、センター開館後は拠点施設を核として文化芸術を通じた経済波及効果が高まるよう、施設の機能を最大限に生かし、市外からも人が集まるような発信力のある取り組みも行う。また、このような効果を生むことで、市民が誇れる文化芸術拠点施設を形成する。</p> <p>事業の実施にあたっては、文化庁の補助金「文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)」を獲得して、事業を実施する。この補助金の交付上限が最長5年間であるため、補助対象規範は平成31年度から令和5年度までが交付対象期間となる。</p>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	文化芸術に対する市民の関心及び理解が深まる。				事業の実施により、身近に文化芸術に触れる機会が作られる。				補助金を獲得し、事業を実施する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均 【算出式:とても良い又は良いと回答した数/全回答数×100】				対象事業の参加者数				補助金の対象事業数			
	単位				単位				単位			
	%				人				事業			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	80	80	85	85	7,660	7,660	10,000	10,000	52	0	5	5
実績	90	-			2,200	12,088			41	9		
達成度	158%											
分析	アンケートを実施することができなかったため、数値の測定のできなかった。				対象事業が多かったため、想定よりも多くの参加者があった。				コロナ禍の中でも多くの事業を実施することができた。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	7.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,161	19,060	16,107		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	19,161	19,060	16,107		
	物件費計	0	9,171	19,124	52,744	42%
	歳出計	19,161	28,231	35,231		
歳入	国庫支出金	0	0	2,400	2,400	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	690	
	歳入計	0	0	2,400	3,090	
	一般財源	19,161	9,171	16,724	49,654	

5. 総括的分析

総括的分析	総合文化芸術センターの開館記念式典や文化芸術アドバイザーによるオープニング企画事業、市民総合文化祭、文化芸術創造事業(枚方シティオペラ)を実施した。また、小学校6年生を対象としたコミュニケーション授業を実施した。計画していた事業のうち2事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。事業全体としては、9事業を実施することで12,088人の参加があったことにより、鑑賞の場や発表の場の提供ができたと考える。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、総合文化芸術センターの指定管理者と連携を図り、事業を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合文化芸術センター施設維持管理業務										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名	総合文化芸術センターの整備と市民文化の発信									
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	R3年度(2021年度)			年度	~				年度まで		
根拠法令等	枚方市総合文化芸術センター条例、枚方市総合文化芸術センター条例施行規則										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	総合文化芸術センターの利用者									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	文化芸術芸術に触れたり、自ら発表したりする場が必要									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	総合文化芸術センターの利用者が安全に施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理を行うことにより、文化芸術活動が活性化される。										
事業概要	令和3年春に竣工する総合文化芸術センター本館と、令和3年4月1日付で市民活動課より移管される総合文化芸術センター別館(旧:メセナひらかた会館)について、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に維持管理を行う。 令和3年4月から指定管理者制度を導入し、令和3年度から令和6年度まではアートシティひらかた共同事業体(代表団体:サントリーパブリシティサービス株)が指定管理者として施設の管理・運営を行う。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
							総合文化芸術センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検等実施回数			
	指標種類	単位					単位 %				単位 回			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標(見込み)					-	100	100	100	-	92	495	495	
	実績					-	99.20			-	86			
達成度						99%				93%				
分析						予算額の範囲内で必要な工事を実施することができた。				目標値には至らなかったものの、運営上必要な保守点検等は実施できた。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	9,036		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	—	—	9,036		
	物件費計	—	—	503,626	517,483	97%	
歳出計		—	—	512,662			
歳入	国庫支出金	—	—	0	0		
	府支出金	—	—	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	89,113	87,691		
	市債	—	—	0	0		
	その他	—	—	76	0		
	歳入計	—	—	89,189	87,691		
一般財源		—	—	414,437	429,792		

5. 総括的分析

総括的分析	本館は令和3年5月に竣工し、6月から総合文化芸術センター指定管理者による管理運営を開始した。 別館は令和3年4月に市民活動課から当課に移管され、総合文化芸術センター指定管理者による管理運営を開始した。また、令和3年10月から令和4年3月まで改修工事を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響で貸館事業が出来ない期間もあったが、利用者に注意喚起を行うなど、感染防止に取り組み業務を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 ○本館の改修・修繕は、市有建築物保全計画改定の際に今後の方針を策定する。 別館の改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた市民大学開催事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	生涯学習を行いたい市民
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)
 市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えることができているとともに、それが生涯学習の推進・生きがいの増進につながっている。

事業概要
 学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を市内5大学においてそれぞれ1講座実施する。

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	生涯学習の推進・生きがいの増進につながる。	「ひらかた市民大学」に市民が参加する。	「ひらかた市民大学」を開催する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」	「ひらかた市民大学」の参加者数	「ひらかた市民大学」の開催数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	達成度	92%	95%	100%
分析	一部の講座について、難しかったという声が聞かれた。	参加者数を大きく絞ったこともあり、目標には届かなかった。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響下でありながら、5大学全てで実施することができたので、概ね達成したと言える。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,844	1,834	1,807		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,844	1,834	1,807		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	1,844	1,834	1,807		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	1,844	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響下にありながら、全ての大学で実施することができたことは、非常に評価できるが、参加者数を大きく絞ったの実施となったこともあり、指標としては決して満足のものではなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	実施に際しては、より多くの市民が、安心・安全に参加できるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども大学探検隊事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小学生			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内の小学生が市内5大学について認識していない			
	ターゲットが抱える課題	将来の夢を育む多様なきっかけが必要			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験をする「子ども大学探検隊」事業を実施する。小学生(高学年)対象。市内5大学のうち毎年希望する大学において実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。	「子ども大学探検隊」事業に子どもが参加する。	「子ども大学探検隊」事業を実施する。									
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)								
	満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「とても良かった」「良かった」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」	「子ども大学探検隊」の参加者数	「子ども大学探検隊」の開催数									
	単位	%	単位	人	単位	回						
	指標種類	増加することが良いとされる指標										
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	実績	90以上	90	90	90	250	250	250	250	5	5	5
達成度	0	91.04			0	69			0	2		
分析	101%		28%		40%							
分析	参加した子どもたちの満足度は極めて高く、目標を上回ることができた。		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2か所しか開催できなかった。実施した大学でも参加者数を絞り実施したため、参加者数も目標を下回った。		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2か所しか開催できなかった。							

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,844	1,834	1,807		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,844	1,834	1,807		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	1,844	1,834	1,807		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	1,844	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 実施に際しては、子ども向けの事業ということで、数値にこだわることなく、新型コロナウイルス感染症の影響を慎重に判断する必要がある。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	実施に際しては、より多くの子どもたちが、安心・安全に参加できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いつつ、各大学の特色を活かした事業を行い、市民周知に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	文化生涯学習課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	文化生涯学習課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称								サンセット			-
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	文化生涯学習課職員。									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	直営施設と指定管理施設があり、それぞれの管理運営を理解したうえで事務を執行する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務を滞りなく処理できている。										
事業概要	課の運営業務										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.76
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,862	13,912	13,722		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	515	646	844		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	19,377	14,558	14,566		
	物件費計	19,001	802,217	1,000,495	1,002,535	100%
	歳出計	38,378	816,775	1,015,061		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	4	5	
	歳入計	0	0	4	5	
	一般財源	38,378	802,217	1,000,491	1,002,530	

5. 総括的分析

総括的分析 課の運営に必要な事務について、適切に処理した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も課の運営が円滑に行われるよう、適切に事務を処理していく。